

## 巻頭言

## サー・ウィンストン・チャーチルの母



会長 山崎 學

新年明けましておめでとうございます。いまだ終息しないコロナ禍の中で新型コロナウイルスと共存しながら経済活動を再開し、感染対策をしっかりと行い、精神科医療関係者が一致団結して地域精神科医療を守っていかなくてはなりません。旧来にも増してご協力よろしくお願いたします。

外出自粛生活の中で日頃買いためておいた本を読む機会が多くなってきたが、目に留まった記事を紹介したい。

「チャーチルの美しい母」ジャネット（愛称ジェニー）・ジェローム・チャーチルは、1854年に裕福な実業家の娘としてニューヨークに生まれた。1874年、イギリスのマールバラ侯爵家出身の保守党政治家ランドルフと豪華客船上で行われた舞踏会で知り合い、3日後に婚約した。当時ジェニーは20歳。二人は1874年4月パリのイギリス大使館で結婚し、間もなくチャーチルが生まれた。この頃からランドルフは錯乱して我を忘れるなどの症状に悩まされはじめた。体調は良くなかったが、ジェニーの多額の持参金もあることで、政界活動が増えていった。当時の上流階級の習慣のままに育児は厳格だった乳母のエヴェレストに任せて、ジェニーは一人で社交界の催しに出かけて派手な噂をまき散らすようになった。

のちに国王エドワード7世となる当時のイギリス皇太子アルバート・エドワードは、美しいジェニーに特別な感情を持ち、高価な品々を贈り続ける。その結果ジェニーは皇太子の愛人になり、社交界での地位を確立した。1883年には、彼女自身が「生涯最高の恋人」と言ったアンドレアス・キンスキー伯爵とも恋愛関係になった。ジェニーは当時29歳、キンスキーは25歳だった。二人の関係は瞬く間に社交界の噂になる。妻の奔放な男性関係にランドルフは夫として激しく感情を表すことはあったが、離婚はしなかった。

ジェニーはウィンストンの才能を信じていたが、少年時代のウィンストンは開花せずに伸び悩んでいた。イギリスの一律的な教育に適応できなかったのである。ウィンストンは聖ジョージ・スクールに入るが全教科最下位という問題児で、食堂の砂糖を盗んで校長から鞭打ち刑に処せられた腹いせに校長が大事にしていた麦わら帽子を踏みつぶすという事件を起こした。アメリカの教育を受けたジェニーは英国の上流階級のサディスティックな教育を憎悪し、ブライトン寄宿学校に転校させる。転校してもウィンストンの品行は変わらなかったが、保守党大物政治家の息子として大目に見られた。

1883年3月ウィンストンはハロー校の入試を受け、成績は振るわなかったが、校長の判断で入学を許可される。そしてハロー校からサンドハースト王立士官学校を受験するが、2回入試に失敗し、試験予備校に通い、ようやく3回目に入学することができる。成人して軍人になるが、

軍での成績もぱっとせず、父ランドルフを落胆させた。気難しくなっていく父との会話は次第に少なくなり、ウィンストンの相談相手になったのは母の愛人のキンスキー伯爵であった。1894年キンスキー伯爵はジェニーにプロポーズするが、夫ランドルフの死期を悟っていたジェニーは申し出を断った。キンスキーはその後ジェニーより20歳年下の女性と結婚する。ジェニーはこの行為に傷つけられた。

1894年ジェニーは豪華客船で夫と最初で最後の世界一周旅行に出発する。リバプール、アメリカ、カナダ、日本、中国、シンガポールと回ったが、日本では1カ月の滞在期間中に日光の東照宮を見学し、足を延ばして京都にも滞在している。ジェニーは航海中に夫がいつ亡くなってもよいように柩を用意していたという。その内側には鉛が張り込んであった。無事に世界一周から帰国し、クリスマスイブを過ごしたが、その1カ月後にランドルフは息を引き取る。

ランドルフの死後、ジェニーは2回結婚している。1918年64歳になったジェニーはモンタギュー・ポーチと再々婚した。モンタギューは当時41歳で、ウィンストンより3歳年下だった。67歳になっても好奇心旺盛だったジェニーは、新しいダンスのステップを練習するほどだったが、転倒し、骨折して片足を切断した。経過は良くなく、失血死のためその華麗な生涯を閉じた。

政治家ウィンストン・チャーチルについて評価は分かれる。ヒトラーの毒牙からヨーロッパを救った大政治家という評価がある一方で、アメリカと共同開発した原子爆弾をトルーマンの求めに応じて使用を容認し、非戦闘員の大量虐殺に手を貸した冷酷さに対する評価もある。政治家としての野心半ばで倒れた父、自由奔放な生活を送る中で息子に限りない愛情を注いだ母の存在が、厳格な乳母のもとで育ったウィンストンの性格形成にどのような影響を与えたか興味深いものがある。

#### 〈参考文献〉

堀江 宏樹 : 『愛と欲望の世界史』(王様文庫〔三笠書房〕)